

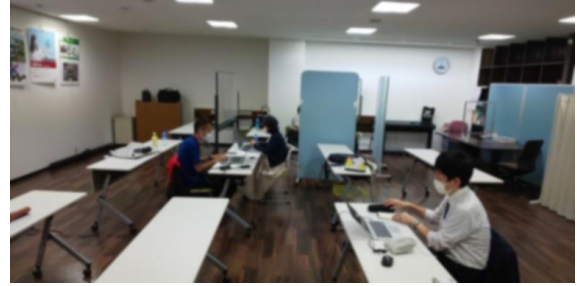
上田未来学ゼミ #1【まとめ】

日 時 令和2年10月14日(水) 19:00~20:30
配信会場 まちなかキャンパスうえだ (Zoomによるオンライン配信)
参加人数 20名 (このほかスタッフ3名も参加)

【オンラインワークショップ…約90分】

“地域”と“SNS”のニューノーマル 講師：おいでよ上田 氏

- ・ツイッターなどSNSを活用し、上田市に関する情報発信に注力されている「おいでよ上田」さんを講師に、今般のコロナ禍の状況を踏まえたオンラインによる対話型ワークショップを開催した。
- ・市で推進している「シビックプライドの醸成」についても触れながら、「地域」と「SNS」、「ニューノーマル」をキーワードとし、参加者の思いの共有を図り、無限に広がる「仮想空間としての地域」などを考える機会となった。



ワークショップ内容等(オンラインにより参加者から寄せられるコメント応答形式)

「コロナになってどう？」～気持ちの言語化と共有～

- ・今の気持ちを語り合えて、思いを共有できる場が大切と考える。

「ニューノーマルのつながりのありかたと SNS を使いまくってわかったこと」

- ・これまでの常識が通用せず、誰も正解が分からない中、自分で判断する力が必要。

「SNS で地域とつながるために、何をしていこう？」

- ・「#俺たちの花火プロジェクト」をやってみて、上田にいなくても上田を感じられる空間があり、新しい地域のつながりのカタチを考えるきっかけとなった。
- ・物理的な土地としての「上田」に、情報など仮想空間としての「上田」を加えるという、無限に広がる「仮想空間での地域づくり」の考えが重要視されていくはず。

総括 (講師による全体まとめ)

- ・「まず、やってみる」ことが大切で、何が求められているかを SNS (ツイートなど) で「観察」すること、そのうえで自分なりの正解を探し、そのことを「発信・行動」して、ニューノーマル時代のイノベーターになってほしいと願っている。
- ・見る人たちに「体感するため現地に行ってみたい」と思ってもらえるような「見せ方」も大事で、情報をブランディングしていく手法なども重要と考えている。